

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP04/019811

International filing date: 27 December 2004 (27.12.2004)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-007812
Filing date: 15 January 2004 (15.01.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 17 February 2005 (17.02.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

PCT/JP2004/019811

27.12.2004

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

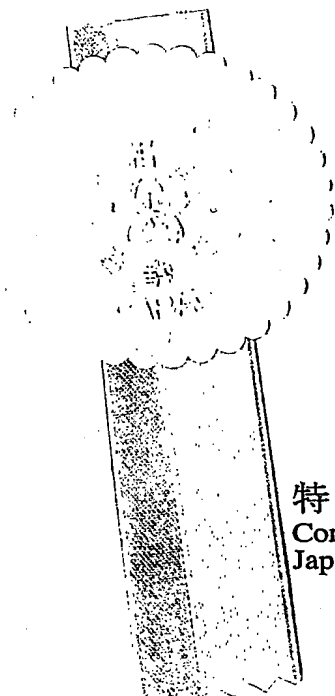
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 4 年 1 月 1 5 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 4 - 0 0 7 8 1 2
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 4 - 0 0 7 8 1 2]

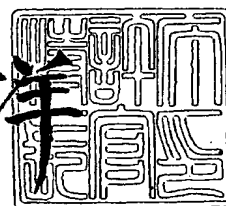
出 願 人 大 王 製 紙 株 式 会 社
Applicant(s):



特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

2 0 0 5 年 2 月 4 日

小 川 洋



出証番号 出証特 2 0 0 5 - 3 0 0 6 8 4 8

【書類名】 特許願
【整理番号】 ER0343
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 A61F 13/15
A61F 5/44
B41M 1/30

【発明者】
【住所又は居所】 愛媛県伊予三島市寒川町 4 7 6 5 番 1 1 ダイオーペーパーコン
パーティンク株式会社内
【氏名】 金田 正浩
【特許出願人】
【識別番号】 390029148
【氏名又は名称】 大王製紙株式会社
【代理人】
【識別番号】 100078776
【弁理士】
【氏名又は名称】 安形 雄三
【選任した代理人】
【識別番号】 100114269
【弁理士】
【氏名又は名称】 五十嵐 貞喜
【選任した代理人】
【識別番号】 100093090
【弁理士】
【氏名又は名称】 北野 進
【選任した代理人】
【識別番号】 100119194
【弁理士】
【氏名又は名称】 石井 明夫
【選任した代理人】
【識別番号】 100128679
【弁理士】
【氏名又は名称】 星 公弘
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 010836
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 特許請求の範囲 1
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

少なくとも、トップシートとバックシートと前記シート間に介在された吸収体により紙おむつ製品本体が形成され、該紙おむつ製品本体の外部から目視できる部位にデザイン印刷が施された紙おむつにおいて、前記デザイン印刷は前記紙おむつ製品本体の幅を A、前記デザイン印刷の面の幅を B としたとき、 $A > B \geq 1/3 A$ なる関係をもつて印刷された複数パターンからなることを特徴とする紙おむつ。

【請求項 2】

前記複数パターンのデザイン印刷は、隣接する印刷面のパターンが相対色に近い近似色で印刷されていることを特徴とする請求項 1 に記載の紙おむつ。

【請求項 3】

前記デザイン印刷は前記紙おむつ製品本体における当該紙おむつの着用者の身体に直接接しない部位に施されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の紙おむつ。

【請求項 4】

少なくとも、トップシートとバックシートと前記シート間に介在された吸収体により紙おむつ製品本体が形成され、該紙おむつ製品本体の外部から目視できる部位にデザイン印刷が施された紙おむつ製品を複数個同一パッケージ内に収納してなる紙おむつ製品パッケージにおいて、前記紙おむつ製品は前記デザイン印刷が前記紙おむつ製品本体の幅を A、前記デザイン印刷の面の幅を B としたとき、 $A > B \geq 1/3 A$ なる関係をもつて印刷された複数パターンからなることを特徴とする紙おむつ製品パッケージ。

【請求項 5】

前記複数パターンのデザイン印刷は、隣接する印刷面のパターンが相対色に近い近似色で印刷されていることを特徴とする請求項 3 に記載の紙おむつ製品パッケージ。

【請求項 6】

前記デザイン印刷は前記紙おむつ製品本体における当該紙おむつの着用者の身体に直接接しない部位に施されていることを特徴とする請求項 4 または請求項 5 に記載の紙おむつ製品パッケージ。

【書類名】明細書

【発明の名称】紙おむつ及び紙おむつ製品パッケージ

【技術分野】

【0001】

本発明は、少なくとも、トップシートとバックシートと前記シート間に介在された吸収体により紙おむつ製品本体が形成され、該紙おむつ製品本体の外部から目視できる部位にデザイン印刷が施された紙おむつ、及び、この紙おむつ製品を複数個同一パッケージ内に収納してなる紙おむつ製品パッケージに関する。

【背景技術】

【0002】

紙おむつは、その目的や用途等により種々のサイズや形状のものが製造され、乳幼児から高齢者に至るまでの多くの人に実用されているが、その基本的な構成については大差がなく、例えば図11に要部断面図で示す紙おむつ1においては、着用者の身体に当接する側（以下、「身体側」という）から順に、トップシート2、クレープ紙3等で被覆された吸収体4、バックシート5により紙おむつ製品本体が構成されている。なお、必要に応じ、トップシート2の身体側に立体ギャザー（図示せず）が、また、トップシート2の反身体側にはセカンドシート（図示せず）が、さらにまた、バックシート5の身体側には防水フィルム6が備えられた紙おむつも公知である。

【0003】

このような紙おむつ1には、通常、美感や下着感を与えて品質向上を図ること、紙おむつの前後方向を表示し着用時の便宜を図ること、あるいは、乳幼児の知育やおむつ離れを図ること等の目的で様々なデザイン印刷が紙おむつ製品本体の外部から目視できる部位に施されている。なお、本発明におけるデザインとは、絵柄、図形、文字、色彩そのもの、あるいはこれらのいずれかの組合せからなるものを意味する。

【0004】

従来、このようなデザイン印刷は、印刷のし易さの面からバックシート5の外面に施されることが多かったが、このようにして施されたデザイン印刷面は身体や衣服に直接触れるため、コーティング等により表面を保護しない限り、印刷された箇所が汗で濡れたり擦れたりしてインクが衣服に転写し、あるいは衣服により擦り落とされてしまうという問題があった。このため、最近ではこのデザイン印刷面は、外部から直接触れることができない部位、具体的には、図11に▲印で示すように、バックシート5の身体側面5a、あるいは防水フィルム6の身体側面6aまたは反身体側面6bのいずれかに設定されている。なお、紙おむつの中には、紙おむつ製品本体の部位に直接印刷を施すもの以外に、バックシート5と吸収体4との間、あるいはバックシート5と防水フィルム6の間に予め所望のデザイン印刷を施したデザインシート（図示せず）を装着した紙おむつも公知である。しかし、この紙おむつの場合には、デザインシートを製造し、装着するための工程が別に必要となり、このため材料費や工数増により製造コストが大幅にアップすることから、一般には前者の紙おむつが多く製造され、市場に提供されている。

【0005】

従来、このようなデザイン印刷は、紙おむつ1の製造過程において、グラビア印刷やフレキソ印刷他の印刷方式により紙おむつ製品本体の上述したような所定の部位に印刷される。

【0006】

しかしながら、このように印刷されるデザインは、通常、同一絵柄や文字、あるいは色彩による同一パターンのデザインが殆どであったため、このようなデザイン印刷が施された紙おむつ、とくにこのような紙おむつ製品を複数個パッケージに収納してなる紙おむつ製品パッケージを消費者が外部から見た場合、このような紙おむつ、あるいは紙おむつ製品パッケージは極めてシンプルで個性のない、換言すれば差別性のない商品として捉えられているのが実情であった。このような消費者のイメージは、紙おむつの商品としての価値を低下させ、これにより紙おむつ製品の販売促進にも影響を与える重要な因子となっ

ていた。

【特許文献1】特開 2003-70838号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は、上述したような実情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、紙おむつ、及び、この紙おむつ製品を一つのパッケージに収納してなる紙おむつ製品パッケージを消費者が外部から見た場合、これが個性のある極めて多彩な商品、換言すれば魅力的で差別性を有する商品であるとのイメージを消費者に与えることができ、かつ、安価に製造することができる紙おむつ、及び、紙おむつ製品パッケージを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明の上記目的は、少なくとも、トップシートとバックシートと前記シート間に介在された吸収体により紙おむつ製品本体が形成され、該紙おむつ製品本体の外部から目視できる部位にデザイン印刷が施された紙おむつにおいて、前記デザイン印刷は前記紙おむつ製品本体の幅をA、前記デザイン印刷の面の幅をBとしたとき、 $A > B \geq 1/3 A$ なる関係をもつて印刷された複数パターンからなることを特徴とする紙おむつを提供することにより、達成される。

【0009】

また、本発明の上記目的は、前記複数パターンのデザイン印刷は、隣接する印刷面のパターンが相対色に近い近似色で印刷されていることを特徴とする紙おむつを提供することにより、より効果的に達成される。

【0010】

また、本発明の上記目的は、前記デザイン印刷は前記紙おむつ製品本体における当該紙おむつの着用者の身体に直接接しない部位に施されていることを特徴とする紙おむつを提供することにより、より効果的に達成される。

【0011】

また、本発明の上記目的は、少なくとも、トップシートとバックシートと前記シート間に介在された吸収体により紙おむつ製品本体が形成され、該紙おむつ製品本体の外部から目視できる部位にデザイン印刷が施された紙おむつ製品を複数個同一パッケージ内に収納してなる紙おむつ製品パッケージにおいて、前記紙おむつは前記デザイン印刷が前記紙おむつ製品本体の幅をA、前記デザイン印刷の面の幅をBとしたとき、 $A > B \geq 1/3 A$ なる関係をもつて印刷された複数パターンからなることを特徴とする紙おむつ製品パッケージを提供することにより、達成される。

【0012】

また、本発明の上記目的は、前記複数パターンのデザイン印刷は、隣接する印刷面のパターンが相対色に近い近似色で印刷されていることを特徴とする紙おむつ製品パッケージを提供することにより、より効果的に達成される。

【0013】

さらにまた、本発明の上記目的は、前記デザイン印刷は前記紙おむつ製品本体における当該紙おむつの着用者の身体に直接接しない部位に施されていることを特徴とする紙おむつ製品パッケージを提供することにより、より効果的に達成される。

【発明の効果】

【0014】

本発明に係わる紙おむつ、及び、この紙おむつ製品を複数個同一パッケージ内に収納してなる紙おむつ製品パッケージは、当該紙おむつ製品本体の外部から見える部位に複数パターンのデザイン印刷が施され、また、紙おむつ製品毎に互いに異なるデザイン印刷が施されているので、これを見た消費者に個性のある極めて多彩な商品、換言すれば魅力的で差別性を有する商品であるとのイメージを与えることができ、これにより紙おむつ製品の販売を促進させることができる。

【0015】

とくに、前記複数パターンのデザイン印刷に関し、隣接する印刷面のパターンを相対色に近い近似色をもって施したものは、デザインの変化がより明確化されるので、上述した効果を一層顕著なものとすることができる。

【0016】

また、前記デザイン印刷は紙おむつ製品本体の着用者の身体に直接接しない部位に施されているので、この印刷部が転写したり擦れ落とされるという心配が全くない。

【0017】

さらにまた、本発明に係わる紙おむつ、及び、この紙おむつ製品を複数個同一パッケージ内に収納してなる紙おむつ製品パッケージは、従来の製造設備に若干の設備を付加することにより製造することができるので、従来のデザインシートを用いて製造される紙おむつの場合に比べ、製造コストを大幅に低減することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0018】

以下、本発明の内容を乳幼児（ベビー）用のパンツ形紙おむつ（以下単に「紙おむつ」という）を例にあげ詳述する。なお、本発明は必ずしも以下の実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲を逸脱しない範囲において、その構成を種々に変更できることはいうまでもない。

【0019】

図1は、本発明に係わる紙おむつ11の製造工程におけるデザイン印刷工程20の概略側面図で、紙おむつ11の最外面を構成するバックシート15が印刷工程20で印刷される状態を示したものである。

【0020】

このバックシート15は、デザイン印刷が施された後、別送されるトップシートと合流され、シート間内部に吸収体が装着された後に所定形状に切断されるが、この製造工程は当分野で周知であるので説明を省略する。

【0021】

印刷工程20は、夫々同一構造からなる5組のグラビア印刷装置21、22、23、24、25で構成されている。グラビア印刷装置21は、青色インキ21aを収容したインキ槽21b、着肉ローラ21c、ドクター21d、グラビアシリンダー21e、圧胴21fによって構成され、各回転体が矢印方向に回転することにより、着肉ローラ21cに付着された青色インキ21aがドクター21dによって所定の量に掻き落され、グラビアシリンダー21eと圧胴21f間を搬送されるバックシート15の身体側面15aに所望のパターンのデザインが印刷される。なお、グラビア印刷装置22、23、24、25も同様に構成されているので、以下はグラビア印刷装置21と対応する同一の構成部品には対応する同一の符号を付して説明する。

【0022】

本実施例では、5種類の色彩を用い、各色彩を矩形状に印刷してなるカラーデザインが採用されている。この5種類の色彩には、青色インキ21a、紫色インキ22a、緑色インキ23a、赤色インキ24a、紺色インキ25aが用いられ、これらのインキは、夫々インキ槽21b、22b、23b、24b、25bに収容されて印刷に供せられる。

【0023】

図2は、前記印刷工程20でデザインが印刷されたバックシート15を身体側面15aから見た平面図である。図2において、Lはバックシート15の幅、すなわち本紙おむつ11を展開して平面から見たときの長手方向寸法、Aは本紙おむつ11の製品幅寸法、Bはデザイン印刷幅寸法を夫々示している。なお、点線26はこのバックシート15が後工程で所定の製品形状に切断されるときに切断位置を示したものである。

【0024】

図示するように、バックシート15の身体側面15aには、前記グラビア印刷装置21～25によって、順次、青、紫、緑、赤、紺の各色彩による矩形パターンのカラーデザイ

ン印刷が同じサイクルで連続して施される。

【0025】

通常、長手方向寸法Lは30～100cm、製品幅寸法Aは26～70cmの範囲に設定される。本発明においては、印刷幅寸法Bは製品幅寸法Aと関係付けられ、 $A > B \geq 1/3 A$ となるように設定されている。これは、 $B < 1/3 A$ に設定すると、デザイン印刷面が細くなり過ぎて同一のカラーデザインが同一の紙おむつ製品の中に入り込んで複雑化してしまい、逆に、 $A < B$ に設定すると単色のデザイン印刷面となってカラーバリエーションが得られなくなるからである。

【0026】

このようにしてデザイン印刷を施すと、印刷が1サイクルを終了するまでの間、隣り合う紙おむつ11は夫々デザインの異なったものとなるので、バライティに富んだデザインを有する紙おむつ11を同一の印刷工程20で連続して製造することができる。

【0027】

なお、本実施例のように色彩のみでデザインを施す場合には、隣接する印刷面のパターンを相対色に近い近似色で印刷することが望ましい。このようにすると、明確なカラーバリエーションと美しさを出すことができ、これにより紙おむつ製品の商品価値を高めることができる。

【0028】

また、以上の印刷工程20は、従来の印刷工程に若干の印刷装置を付加することで実現できるので、格別に工程を設ける必要がなく、これにより紙おむつ11を安価に製造することができる。

【0029】

図3は、上述したようにしてデザイン印刷が施され、最終的に所定の形状切断された紙おむつ11の製品本体を展開して外側（反身体側）から見た平面図で、図2の略中央部に示されるバックシート15の切断部分に該当するものである。図示するように、本実施例に係わる紙おむつ11では、製品幅寸法Aに対し印刷幅寸法Bの緑色印刷面が中央部に縦長状に配置され、この側部に印刷幅寸法 $1/3 B$ の紫色印刷面と赤色印刷面とが対称的に配置されてなるデザインが施されている。

【0030】

図4は、本紙おむつ11の製品本体を長手方向中央部から折り畳み、開放側端部を溶着してパンツ形の紙おむつ11を完成させたときの斜視図である。

【0031】

周知のように、紙おむつ11の最外層に設けられるバックシート15は体液不透過性裏面材を構成するもので、この材料には、通常、ポリエチレンやポリプロピレン等のオレフィン系樹脂シート等の、少なくとも体液を透過しないシート材のほか、ポリエチレンシート等に不織布を積層したラミネート不織布や、さらには防水フィルムを介して実質的に不透液性を確保した不織布シート等が用いられるが、厚みが薄く、また透明性を有するものであることから、上述したようにデザインがバックシート15の身体側面15aに施されていても、消費者はこのデザインを外部からはっきり見ることができる。

【0032】

図5は、上述したデザインを色彩のみで構成した紙おむつの第1変更例を示すもので、パンツ形に完成された紙おむつ11aを正面から見たものである。図示するように、本紙おむつ11aでは、製品幅寸法A1に対し印刷幅寸法B1の緑色印刷面が略中央部に縦長状に配置され、この左側（正面視右側）に印刷幅寸法B1の赤色印刷面が、右側（正面視左側）に青色印刷面が配置されてなるデザインが施されている。なお、本実施例では、製品幅寸法A1は374mmに、印刷幅寸法B1は130mmに設定されている。また、着用する乳幼児の体長に合わせ、例えばこの製品幅寸法A1を414mmに、印刷幅寸法B1を150mmに設定する等、製品幅寸法及び印刷幅寸法は目的や用途に応じ任意に設定することができる。

【0033】

図6は、上述したデザインを色彩のみで構成した紙おむつの第2変更例を示すもので、パンツ形に完成された紙おむつ11bを正面から見たものである。図示するように、本紙おむつ11bでは、製品幅寸法A2に対し印刷幅寸法B2の赤色印刷面が略中央部に曲線状に配置され、この左側（正面視右側）に印刷幅寸法B2の緑色印刷面が、右側（正面視左側）に青色印刷面が、さらにこの青色印刷面に隣接して橙色印刷面が配置されてなるデザインが施されている。なお、本実施例では、製品幅寸法A2は374mmに、印刷幅寸法B2は130mmに設定されている。

【0034】

図7は、上述したデザインを色彩のみで構成した紙おむつの第3変更例を示すもので、パンツ形に完成された紙おむつ11cを正面から見たものである。図示するように、本紙おむつ11cでは、製品幅寸法A3に対し印刷幅寸法B31の青色印刷面が略中央部に斜線状に配置され、この左側（正面視右側）に印刷幅寸法B32の緑色印刷面が、この緑色印刷面に隣接して赤色印刷面が、また青色印刷面の右側（正面視左側）に橙色印刷面が配置されてなるデザインが施されている。なお、本実施例では、製品幅寸法A3は414mmに、印刷幅寸法B31は180mmに、印刷幅寸法B32は150mmに設定されている。

【0035】

上述した各変更例のいずれにおいても、隣接する印刷面のパターンが相対色に近い近似色で印刷され、バライティに富んだデザインとなっているので、前記紙おむつ11の場合と同様な効果を得ることができる。

【0036】

以上の実施例は、デザインを色彩のみで構成した場合であるが、前述したように、このデザインは種々の形態のものに置き換えることができる。

【0037】

図8は、本発明の他の実施例を示すもので、上記同様にパンツ形に完成された紙おむつ11dを正面から見たものである。図示するように、本紙おむつ11dでは、製品幅寸法A4に対し星形図形27を有する印刷幅寸法B4の印刷面が略中央部に縦長に配置され、この左側（正面視右側）に円形図形28を有する印刷幅寸法B4の印刷面が、また星形図形27を有する印刷面の右側（正面視左側）にはハート形図形29を有する印刷面が配置されてなるデザインが施されている。なお、本実施例では、製品幅寸法A4は414mmに、印刷幅寸法B4は150mmに設定されている。このように、デザインを図形同士の組合せによっても構成することができる。

【0038】

図9は、本発明のさらに他の実施例を示すもので、上記同様にパンツ形に完成された紙おむつ11eを正面から見たものである。図示するように、本紙おむつ11eでは、製品幅寸法A5に対し子犬絵柄30を有する印刷幅寸法B5の印刷面が略中央部に縦長に配置され、この左側（正面視右側）に兎絵柄31を有する印刷幅寸法B5の印刷面が、また子犬絵柄30を有する印刷面の右側（正面視左側）には小鳥絵柄32を有する印刷面が配置されてなるデザインが施されている。なお、本実施例では、製品幅寸法A5は374mmに、印刷幅寸法B5は150mmに設定されている。このように、デザインを絵柄同士の組合せによっても構成することができる。

【0039】

上述したように、とくにデザインを種々の図形や動物等の絵柄で構成すると、当該紙おむつを着用する乳幼児に対する知育目的をも達成することができる。

なお、以上の実施例は、いずれもデザインをバックシートの身体側面に施す場合であるが、本発明では、このデザインを図11に▲で示すように防水フィルム6の身体側面6a、あるいは反身体側面6bに施してもよく、また、必要に応じ、トップシート2の下側に設けられるギャザー押えシート（図示せず）の身体面側に施すようにしてもよい。

【0040】

図10は、上述した印刷工程20を経て製造されたデザインの異なる3種類の紙おむつ

11x、11y、11zを複数個整列させ、3段積みにしてパッケージ33の内部に収納してなる紙おむつ製品パッケージ34の斜視図である。このパッケージ33は、通常、透明ないし半透明のシート材で製袋されるので、消費者は内部に収納されている紙おむつ11x、11y、11zを紙おむつ製品パッケージ34の外側から見る事ができる。上述したように、本紙おむつ製品パッケージ34は夫々パターンの異なるバラエティに富んだデザインを有する紙おむつ11x、11y、11zを一つのパッケージ33内に収納してなっているので、本紙おむつ製品パッケージ34は消費者の目に止まり易くなり、また、個性のある商品としてのイメージを消費者に与えることができる。なお、この紙おむつ製品パッケージ34の包装形態は種々なものに変更できることはいうまでもない。

【産業上の利用可能性】

【0041】

本発明はパンツ形の紙おむつに限らず、このほかテープ形の紙おむつ、あるいは類似の吸収性物品にも適用することができる。また、印刷方式もグラビア印刷に限らず、このほかフレキソ印刷ほかの種々の印刷方式を利用することができることはいうまでもない。

【図面の簡単な説明】

【0042】

【図1】 本発明の一実施例に係わる印刷工程の概略側面図である。

【図2】 上記工程で印刷されたデザインの一実施例を示す平面図である。

【図3】 デザイン印刷の施された紙おむつ製品本体の展開平面図である。

【図4】 上記紙おむつ製品本体により形成されたパンツ形紙おむつの斜視図である。

【図5】 デザイン印刷の第1変更例を示す紙おむつの正面図である。

【図6】 デザイン印刷の第2変更例を示す紙おむつの正面図である。

【図7】 デザイン印刷の第3変更例を示す紙おむつの正面図である。

【図8】 本発明の他の実施例に係わる紙おむつの正面図である。

【図9】 本発明のさらに他の実施例に係わる紙おむつの正面図である。

【図10】 本発明の一実施例に係わる紙おむつ製品パッケージの斜視図である。

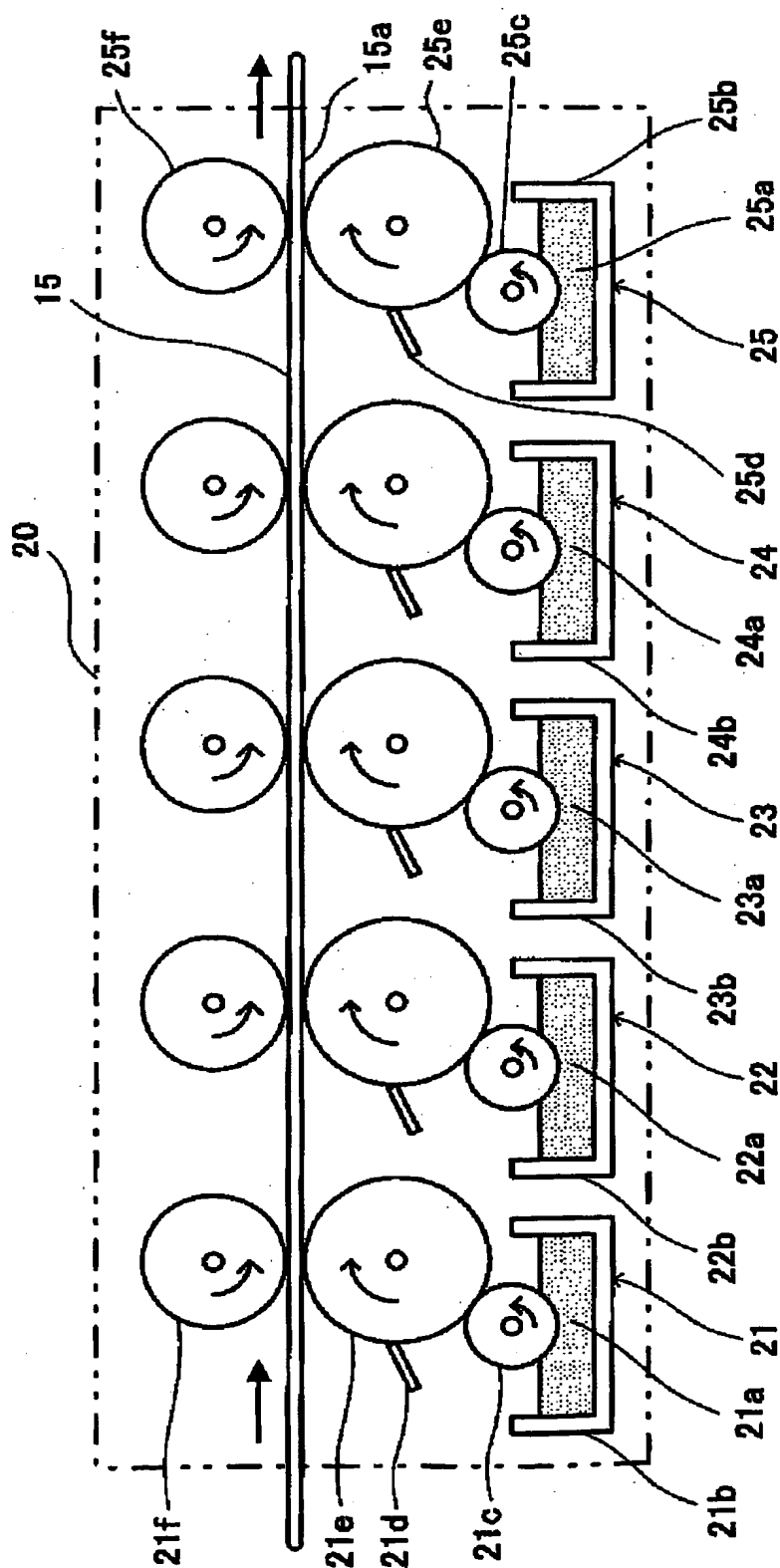
【図11】 一般的な紙おむつ製品本体の要部断面図である。

【符号の説明】

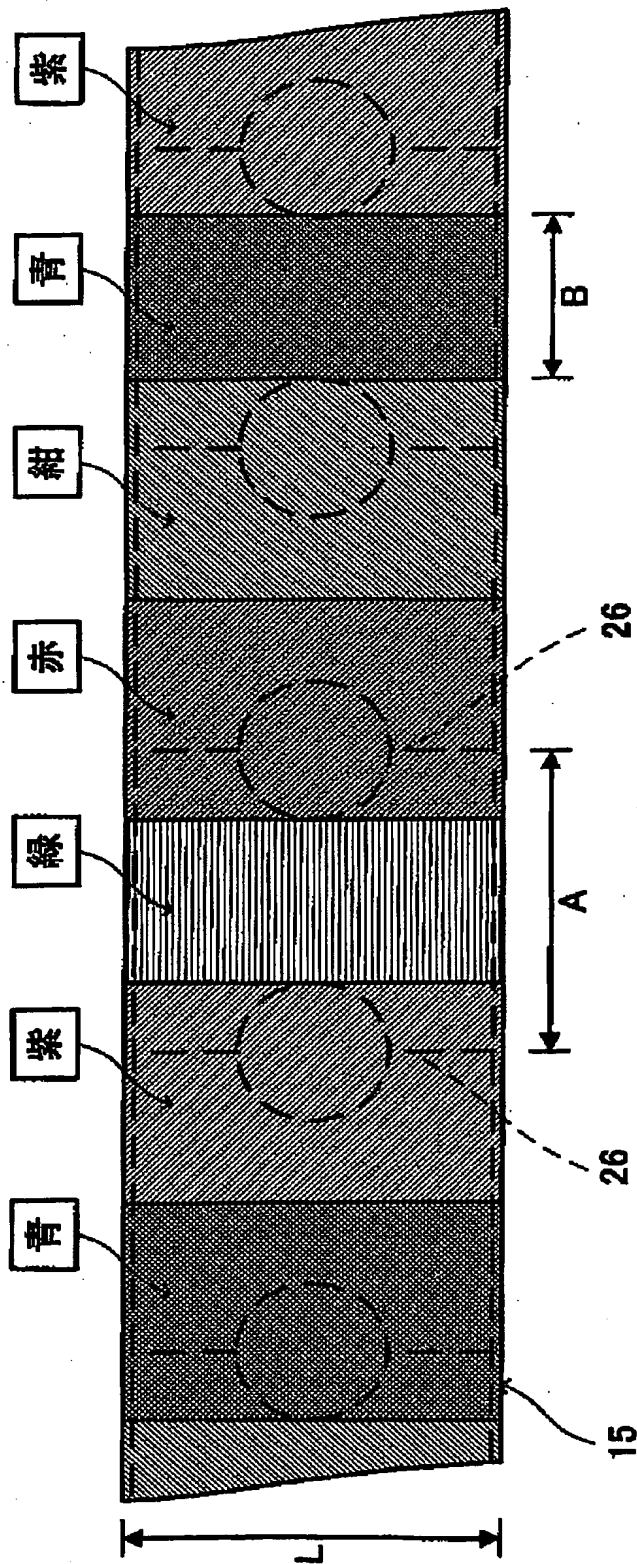
【0043】

1、11、11a～11e、11x、11y、11z	(パンツ形の) 紙おむつ
2	トップシート
3	クレープ紙
4	吸収体
5、15	バックシート
6	防水フィルム
20	印刷工程
21、22、23、24、25	印刷装置
33	パッケージ
34	紙おむつ製品パッケージ

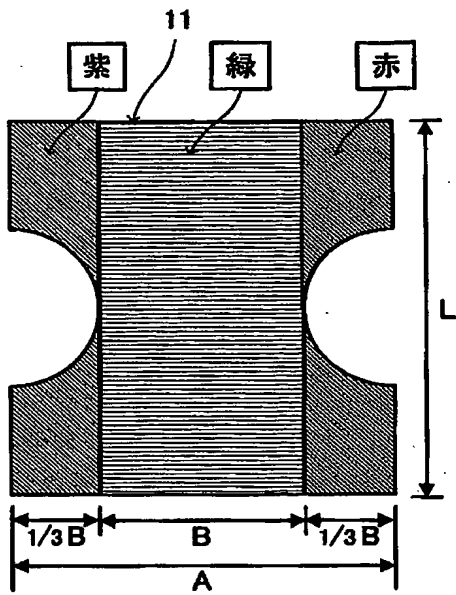
【書類名】図面
【図 1】



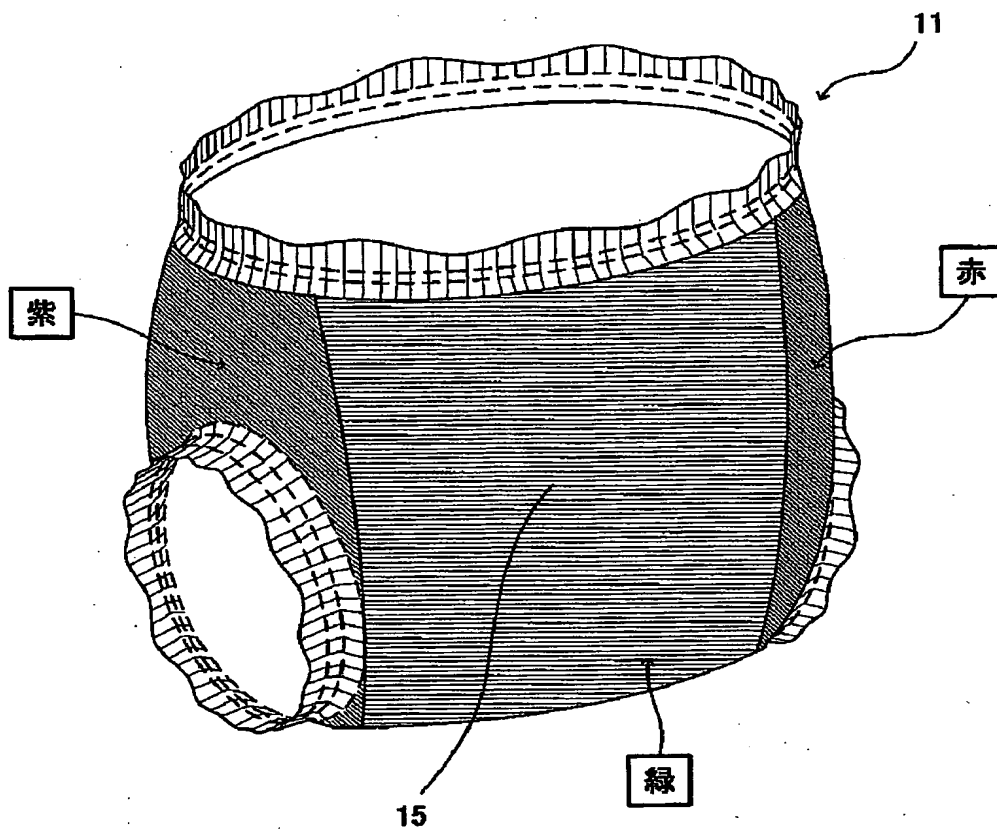
【図2】



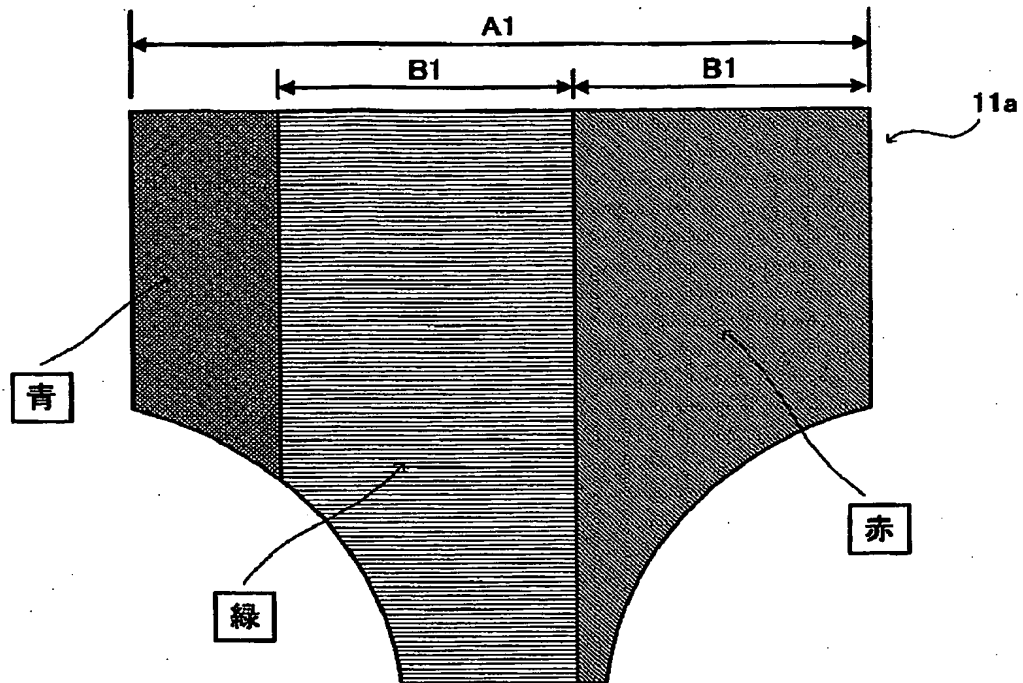
【図 3】



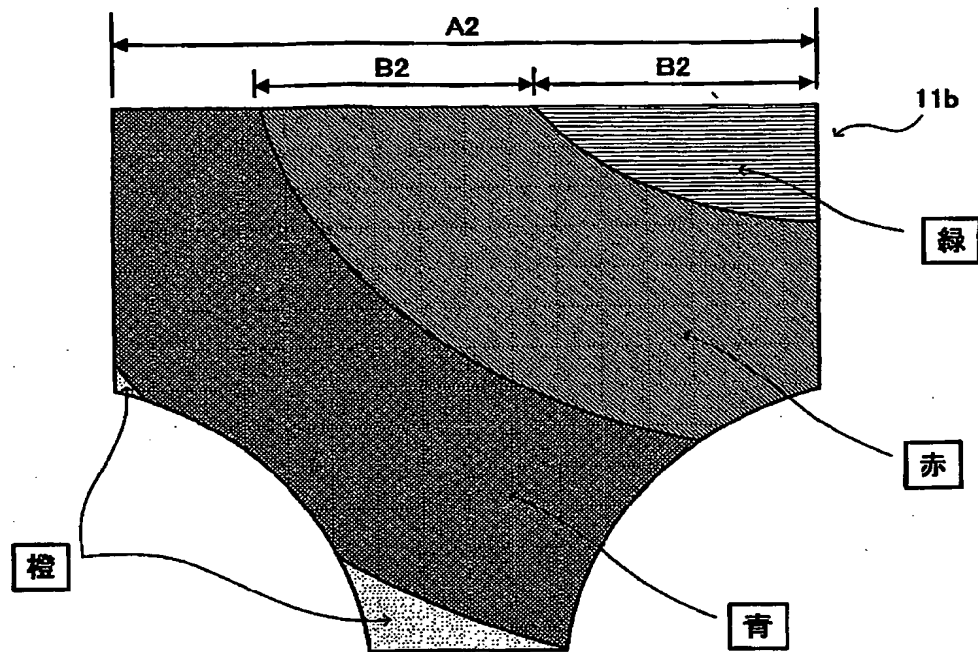
【図4】



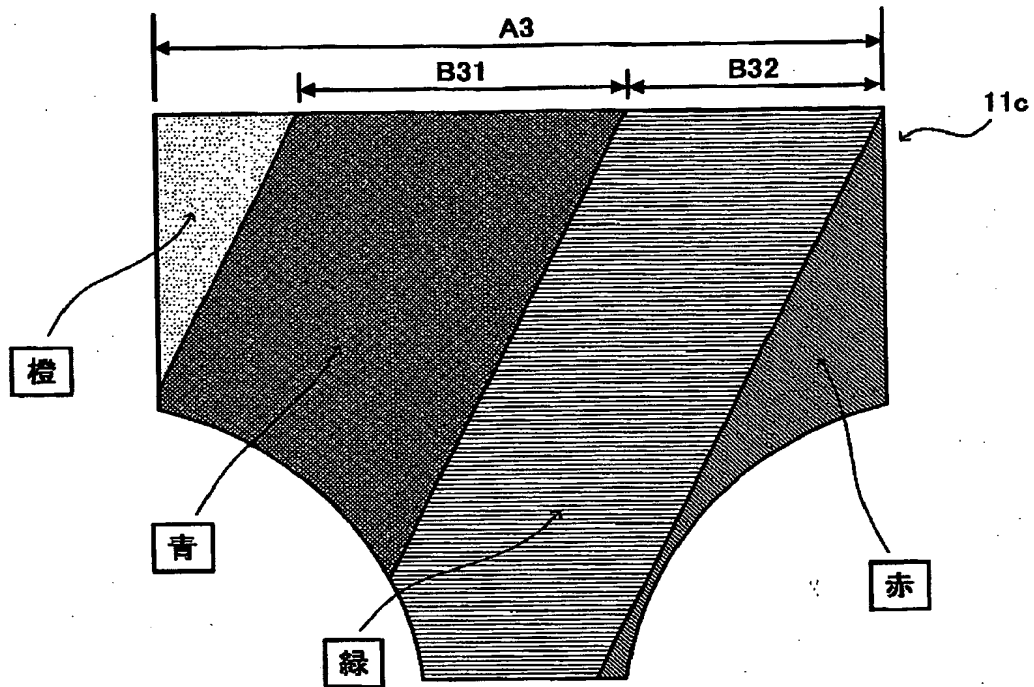
【図5】



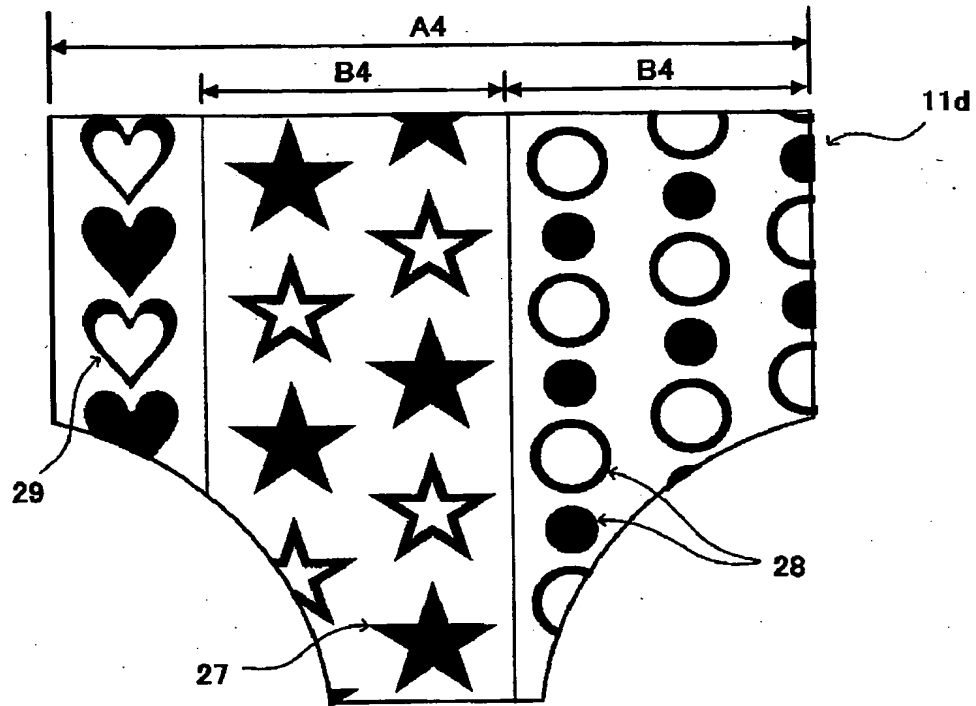
【図 6】



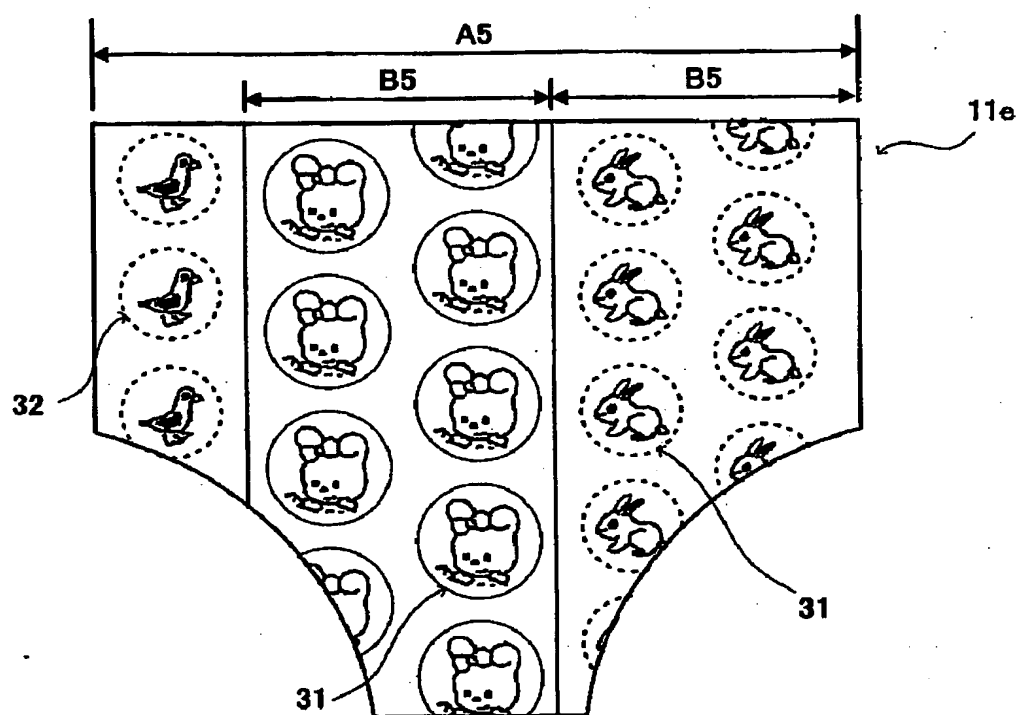
【図 7】



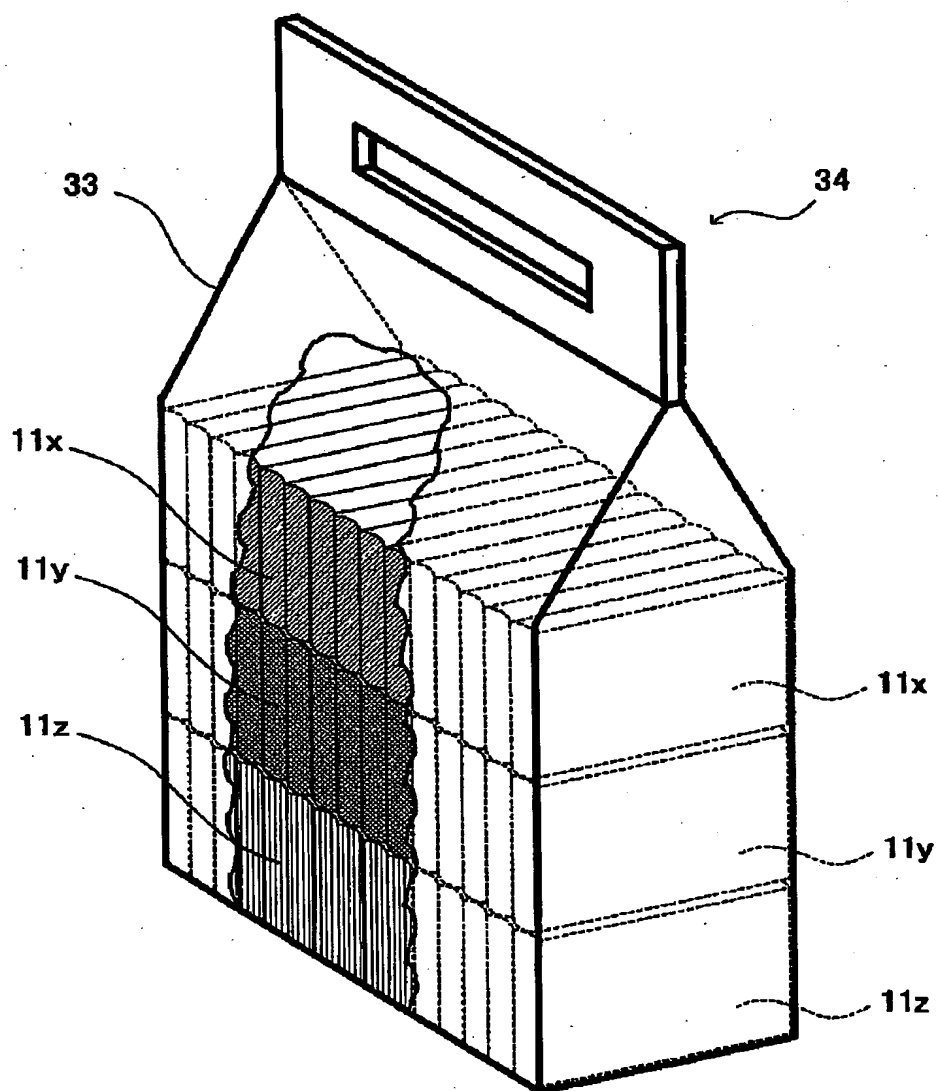
【図 8】



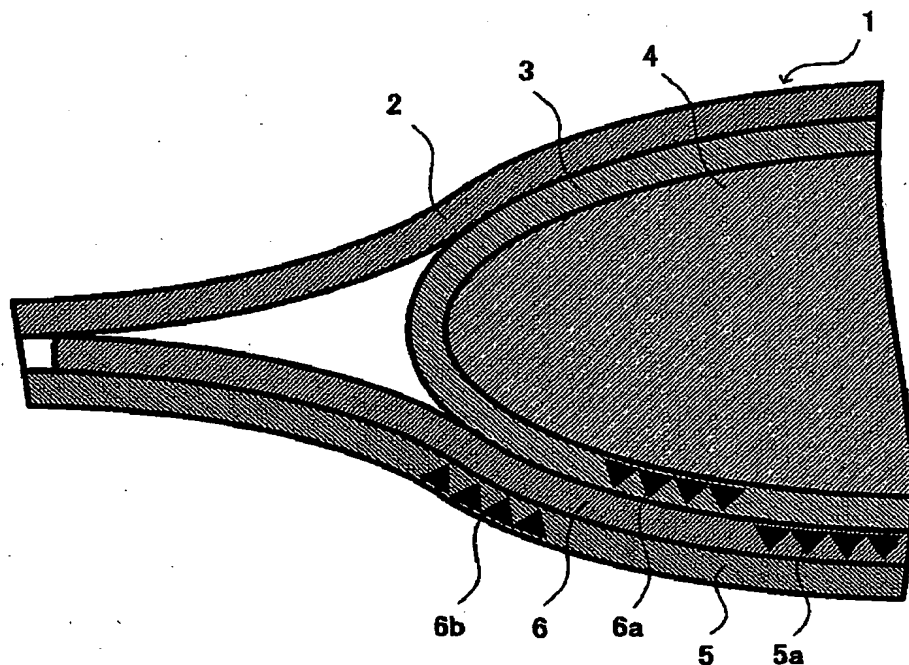
【図 9】



【図 10】



【図 11】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】

紙おむつ、及び、この紙おむつ製品を一つのパッケージに収納してなる紙おむつ製品パッケージを消費者が外部から見た場合、これが個性のある極めて多彩な商品、換言すれば魅力的で差別性を有する商品であるとのイメージを消費者に与えることができ、かつ、安価に製造することができる紙おむつ、及び、紙おむつ製品パッケージを提供すること。

【解決手段】

少なくとも、トップシートとバックシートと前記シート間に介在された吸収体により紙おむつ製品本体が形成され、該紙おむつ製品本体の外部から目視できる部位にデザイン印刷が施された紙おむつにおいて、前記デザイン印刷を前記紙おむつ製品本体の幅をA、前記デザイン印刷の面の幅をBとしたとき、 $A > B \geq 1/3 A$ なる関係をもつて施し紙おむつを作る。また、デザインの異なる前記紙おむつ製品を複数個同一パッケージ内に収納して紙おむつ製品パッケージを作る。

【選択図】図4

特願2004-007812

ページ: 1/E

認定・付加情報

特許出願の番号

特願2004-007812

受付番号

50400059991

書類名

特許願

担当官

第五担当上席

0094

作成日

平成16年 1月16日

<認定情報・付加情報>

【提出日】

平成16年 1月15日

特願 2004-007812

出願人履歴情報

識別番号 [390029148]

1. 変更年月日 1990年11月27日
[変更理由] 新規登録
住所 愛媛県伊予三島市紙屋町2番60号
氏名 大王製紙株式会社
2. 変更年月日 2004年 4月22日
[変更理由] 住所変更
住所 愛媛県四国中央市三島紙屋町2番60号
氏名 大王製紙株式会社